

グリーティング

カーッと気温が上がる季節になり、汗だくになる日が続くと、冷たいスイカを頬張りたくなります。大きなスイカをザクザク切り分けて、家族で和気あいあい食べるのが、夏の団欒風景でした。種を飛ばしたり、皮のすぐそば迄食べたりして、全く気取らないスイカの思い出です。

でも、最近は高齢者所帯が増え、結婚しない若者が増え、子供のいない家庭が増えました。スイカを丸ごと一つは買うことが出来ない時代になってしまいました。

--- スイカ一個を食べきれぬ家族がいた幸福 ---

名コピーライター岩崎俊一さんの作品です。スーパーに並んだスイカを見て、少しさびしく思った事でした。 S.K



技工情報

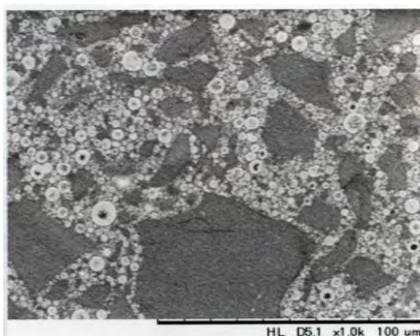
~CAD/CAM冠と硬質レジンジャケット冠の比較について~

○硬質レジンジャケット冠

レジンの重合率の低さから、経年的な着色や劣化、物性の低下による破折の可能性が出てしまいます。つまり、硬化と名が付いても、時間的経過とともに劣化していく材料となります。

○CAD/CAM冠

材料的にはセラミックが80%、レジンが20%で構成されており、工場において出荷時にはすでに100%近くまで重合されています。この工場ですべて100%近くまで重合されているということは、技工士が手作業で重合を行うレジンと比較しても物性や耐着色性においても優位になります。



硬質レジンのSEM画像



CAD/CAM冠のSEM画像

*写真を比較しても従来の築盛型レジンとCAD/CAM冠のブロックに比べて構造的にも、疎であることがわかります。

*このことにより、CAD/CAM冠は従来型のペースト状のレジンと比較して構造的に密であり、十分な形成量であれば強固な補綴物になります。